

各 位


**日医工株式会社**  
 会社名  
 代表者名 代表取締役社長 田村友一  
 (コード 4541 東証・大証・名証各第一部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 赤根賢治  
 T E L . 076-432-2121

## 2010年11月期 決算短信について

### 1. 2010年11月期の連結業績について (2009年12月1日～2010年11月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2010年11月期	64,352	7,097	6,883	3,865	122円50銭
2009年11月期	54,806	6,246	6,121	3,762	121円98銭
対前期比	117.4%	113.6%	112.4%	102.7%	—

医薬品業界におきましては、2010年4月に診療報酬改定と薬価改正が実施されました。当社は薬価加重平均で約9.3%の引下げの影響がありましたが、ジェネリック医薬品の使用促進策として後発医薬品調剤体制加算の加算点数が従来よりも大幅に引上げられ、調剤市場を中心にジェネリック医薬品の市場拡大が進んでおります。

このような状況のなか当社は、ジェネリック医薬品の品質・生産能力・生産性の向上を目的として富山県滑川市の滑川第一工場に大型設備投資を行い、2010年4月から稼働を開始しております。今後もジェネリック医薬品の市場拡大に伴う需要増に対応するため、生産能力向上に向けて継続的に取り組んで参ります。

また、ジェネリック医薬品の開発の効率化・スピード化に対応するため、開発・生産・品質管理に一体として取り組むグローバル開発品質管理センター「ハニカム棟」を建設しております。同センターはグローバルな基準に対応した世界に挑戦する戦略的な開発拠点として、原薬から製剤開発・生産・品質管理機能を集約した施設となる計画です。着工は2010年12月、竣工は2011年10月を予定しております。

2010年5月、サノフィ・アベンティスと当社は、日本におけるジェネリック医薬品事業の戦略的提携に合意し、同年6月に共同出資会社「日医工サノフィ・アベンティス株式会社」を設立しております。この取り組みの一つとして2010年9月1日より睡眠障害改善剤「アモバン錠」の販売移管をスタートいたしました。今後も当社のジェネリック医薬品の専門性とサノフィ・アベンティスグループがグローバルで展開するリソースの統合により、当社は日本のジェネリック医薬品市場を創造してまいります。

韓国のAprogen Inc.とは、バイオ後続品の研究開発を目的とした資本業務提携契約を2010年10月に締結しております。本提携を通じて、当社は同社の発行済株式総数の33.4%を取得しており、今後協力してバイオ後続品の研究開発を進めて参ります。

また、当社は2010年12月1日より東京証券取引所市場第一部に上場しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高が643億52百万円（前連結会計年度比17.4%増）、営業利益が70億97百万円（同13.6%増）、経常利益が68億83百万円（同12.4%増）、当期純利益は38億65百万円（同2.7%増）と売上高・利益とも過去最高となりました。

売上高を品目別に見ますと、経口プロスタグランジンE<sub>1</sub>誘導体制剤「オパプロスモン錠5μg」、高脂血症治療剤「メバン錠5mg・10mg」、ロイコトリエン受容体拮抗剤「プラナルカストカプセル112.5mg」、持続性Ca拮抗剤「アムロジピン錠2.5mg・5mg」、血行促進・皮膚保湿剤「ビーソフテンローション・軟膏」などが堅調な売上を示しました。

## 2. 2011年11月期の連結業績予想について（2010年12月1日～2011年11月30日）

（単位：百万円）

通 期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2011年11月期(予想)	77,400	8,500	8,000	4,500	138円90銭
2010年11月期	64,352	7,097	6,883	3,865	122円50銭
対前期比	120.3%	119.8%	116.2%	116.4%	—

（単位：百万円）

第2四半期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2011年11月期(予想)	36,500	3,800	3,600	2,000	61円73銭
2010年11月期	30,817	3,606	3,453	1,861	60円36銭
対前期比	118.4%	105.4%	104.2%	107.4%	—

（次期の見通し）

次期においてもジェネリック医薬品の使用促進が進み、市場は拡大していくことが見込まれますが、その中において2010年11月に販売開始した新規薬価収載（追補）の製品、さらに2011年5月に販売開始予定の追補製品の販売を推し進めることを軸として、次連結会計年度は、売上高774億円、営業利益85億円、経常利益80億円、当期純利益45億円の計上を見込んでおります。

## 3. 配当金について

当期末の配当につきましては、普通配当15.00円に東京証券取引所市場第一部への上場を記念して、記念配当2.00円を加え1株当たり17.00円とする予定です。これにより、2010年8月に実施した第2四半期末配当15.00円と合わせて、年間配当は1株当たり32.00円となります。

なお、次期の配当につきましては、第2四半期末1株当たり16.00円、期末1株当たり16.00円（年間1株当たり32.00円）を予定しております。

## 4. 企業集団の状況について

連結子会社は下記の1社であります

会 社 名	本 店	事 業
日医工ファーマ株式会社	富山県富山市	医薬品の製造及び販売

## 5. 役員の異動について

（1）役員制度改定・役員異動の目的

- ① 社外取締役新設・社外監査役増員によりガバナンスの強化を図る。
- ② 東証上場を機会に取締役としての「業務執行の管理監督機能」と「業務執行」の職責を明確にし、それぞれの職務遂行の機動性・迅速性を高めることを目的とする。

(2) 当社の役員の異動

取締役および監査役については、第46期定時株主総会の承認をもって就任となります。

①取締役候補者（2011年2月25日付予定）

氏名	予定される役職名
田村友一	代表取締役社長
高木繁雄	社外取締役（新任）
金剛寺敏則	取締役専務執行役員 営業本部長
浦山秀好	取締役常務執行役員 生産本部長
河上大山	取締役常務執行役員 社長室担当
町田英一	取締役常務執行役員 東京駐在
赤根賢治	取締役常務執行役員 管理本部長

なお、瓜生直樹氏は同日付で相談役に、小林宏希氏は常務執行役員信頼性保証本部長に就任予定であります。

注. 高木繁雄氏は会社法第2条第15号に規定する「社外取締役」であります。

②監査役の異動（2011年2月25日付予定）

氏名	予定される役職名
飯田晋一郎	(新任) 社外監査役
熊田重勝	(新任) 常勤監査役
早川俊秀	(退任) 常勤監査役
小島彰夫	(辞任) 監査役

注. 飯田晋一郎氏は会社法第2条第16号に規定する「社外監査役」であります。

新任取締役候補略歴

氏名 (生年月日)	略歴
高木繁雄 (昭和23年4月2日生)	昭和46年4月 ㈱北陸銀行入行 平成10年6月 同行取締役 平成14年6月 同行取締役頭取(現任) 平成15年9月 ㈱ほくぎんフィナンシャルグループ(現㈱ほくほくフィナンシャルグループ)代表取締役社長(現任)

新任監査役候補略歴

氏名 (生年月日)	略歴
飯田晋一郎 (昭和12年12月13日生)	昭和36年12月 吉富製薬㈱(現田辺三菱製薬㈱)入社 平成12年6月 三菱ウェルファーマ㈱(現田辺三菱製薬㈱)代表取締役社長 平成15年6月 三菱ウェルファーマ㈱(現田辺三菱製薬㈱)相談役 平成15年6月 三菱化学㈱(現三菱ケミカルホールディングス㈱)社外取締役 平成15年7月 当社非常勤顧問 平成16年10月 三菱化学㈱(現三菱ケミカルホールディングス㈱)社外取締役退任

(3) 連結子会社の役員の異動 (参考)

①代表者の異動 (2011年2月21日付予定)

新	旧
浦山秀好	竹田好秀

浦山秀好氏が新たに代表取締役役に就任し、竹田好秀氏が常務取締役役に就任する予定であります。

②その他の役員の異動

取締役の異動 (2011年2月21日付予定)

氏名	予定される役職名
富樫美津雄	(新任) 取締役開発・渉外担当
瓜生直樹	(退任) 取締役開発担当
河上大山	(退任) 取締役渉外担当

監査役の異動 (2011年2月21日付予定)

氏名	予定される役職名
石田 貢	(新任) 常勤監査役
小島彰夫	(辞任) 常勤監査役

以上